

さんじょう

三条市の今とこれからと一緒にみてみよう！

2026

8.1

市議会だより

SANJO CITY COUNCIL NEWS No.61

今号の **ピックアップ!**

5月臨時会で市議会の新体制が決定



- 【今号の主な内容】
- 市議会の新体制決まる P2
 - 令和8年(2026年)6月定例会(6月15日～29日)
 - 議案賛否一覧 P4
 - 《市政を問う》
 - 大綱質疑 P5
 - 一般質問 P6
 - 常任委員会審査レポート P13
 - 令和8年(2026年)5月臨時会(5月20日、21日)
 - 議案賛否一覧 P14
 - 報告
 - 令和7年度政務活動費収支報告 P15

議会を傍聴しませんか？

次の定例会の
開催予定は

9/2_水～

市議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話：0256-34-5583

FAX：0256-33-8861

メール：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも
情報発信中！



始動市議会の新体制決まる



議長就任あいさつ

野寄久雄

三条市も平成17年の合併以来22年目を迎えております。
しかしながら、人口減少に歯止めもからず、経済に与える影響は大なるものがあります。
4月の選挙で9名の新人議員が加わり、三条市議会も変革に向けてスタートを切りました。
三条市民の生命と財産を守るべく、市議会議員全員で役割を果たし、市民の幸せを追求していく所存です。
市民の皆さまのご指導・鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



副議長就任あいさつ

岡田竜一

5月20日の臨時会におきまして指名推選により副議長に当選させていただきました。大変にありがとうございます。
もとより浅学非才の身と心して円滑な議会運営と議会活性化に努めてまいりる所存であります。副議長は、議長の補助機関ではなく代理機関であります。その職のよって立つところは、市政維持と市民の安全安心であります。ご指導・鞭撻をお願い申し上げます。

議会運営委員会（定数8人）

議会の円滑な運営を図るために、会期の決定や議会の運営、議事の取り扱いなどを協議します。

委員長	白鳥 賢
副委員長	小林 誠
委員	馬場 博文
委員	藤家 貴之
委員	西村 邦明
委員	長谷部良明
委員	竹山 嘉一
委員	阿部 育子

議会報編集委員会（定数6人）

市議会の活動状況を広く市民にお知らせし、議会に対する理解と関心を深めてもらうための市議会だよりを編集します。

委員長	石田 文夫
副委員長	外山 隆介
委員	平井恵里子
委員	阿部 育子
委員	長谷部良明
委員	石綿登志子

常任委員会

市の行う事務や議案に関する調査を効率的、専門的に行うため議会が設置するもので、三条市には3つあり、議員はいずれかに所属します。議案は、本会議で直ちに決めるものもありますが、市の行う事務が幅広く内容も複雑なため、議案や請願の審査を常任委員会に付託して、所管部局から詳しい説明を受け、質疑を行って委員会としての結論を出し、本会議に報告します。

凡例

顔写真

氏名

所属会派
住 所
期数(新市から)

総務文教常任委員会（定数8人）

【所管部局】 議会事務局、総務部、サービスセンター、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、教育委員会、消防本部、その他

委員長	ふじいえ たかゆき 藤家 貴之 自由クラブ 駒込 3期
副委員長	つばめ ゆきお 燕 幸男 公明党議員団 三竹二丁目 2期
委員	おかだ りゅういち 岡田 竜一 清風会 上保内 5期
委員	こばやし まこと 小林 誠 日本共産党議員団 島潟 7期
委員	いしだ ふみお 石田 文夫 清風会 仲之町 1期
委員	しらとり けん 白鳥 賢 自由クラブ 松ノ木町 3期
委員	とやま りゅうすけ 外山 隆介 自由クラブ 石上二丁目 1期

市民福祉常任委員会（定数7人）

【所管部局】 市民部、福祉保健部

委員長	おかもと こうすけ 岡本 康佑 清風会 西本成寺一丁目 3期
副委員長	うちやま しんいち 内山 信一 自由クラブ 矢田 3期
委員	めぐろ ひろし 目黒 博 清風会 三竹二丁目 1期
委員	あべ いくこ 阿部 育子 公明党議員団 猪子場新田 1期
委員	いしわた としこ 石綿 登志子 日本共産党議員団 塚野目四丁目 1期
委員	のざき ひさお 野寄 久雄 自由クラブ 一ノ門二丁目 4期

経済建設常任委員会（定数7人）

【所管部局】 経済部、建設部、農業委員会

委員長	むらかみ まさる 村上 勝 自由クラブ 吉田 1期
副委員長	たけやま よしかず 竹山 嘉一 清風会 条南町 2期
委員	にしむら くにあき 西村 邦明 清風会 本町四丁目 2期
委員	は せ べ よしあき 長谷部 良明 自由クラブ 鹿峰 1期
委員	もりやま あきら 森山 昭 自由クラブ 貝喰新田 6期
委員	さとう かずお 佐藤 和雄 自由クラブ 泉新田 7期

令和8年(2026年)
6月
定例会

6月定例会は、6月15日から29日までの15日間にわたって開かれました。

初日は、全国市議会議長会の表彰状伝達式を行ったほか、「教育委員会教育長の任命」などの人事案件4件について採決の結果、いずれも同意しました。

このほか市長提出議案は、「三条市税条例の一部改正」などの条例案件、学習者用タブレット端末などの「動産の取得」、令和7年11月の火災により焼損した清掃センターの本復旧等の経費などを盛り込んだ「令和8年度三条市一般会計補正予算」約2億1400万円など6件が上程されました。

これらの議案は、各常任委員会での審査を経て、採決の結果、すべて原案の通り可決または同意しました。

議 案 賛 否 一 覧					○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対				
議 案				会 派 名 (下段は所属議員数)	清 風 会	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	議 決 結 果
区 分	番 号	件 名	概 要	審査した 委員会	9	9	2	2	果
〔市長提出〕									
人 事	議第1号	教育委員会教育長の任命について	教育委員会教育長熊倉隆司さんは、令和8年7月25日に任期満了することとなるので、その後任教育長として熊倉隆司さんを任命するもの 任期：3年		○	○	○	○	同意
	議第2号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員佐藤俊光さんは、令和8年7月25日に任期満了することとなるので、その後任委員として高山啓二さんを任命するもの 任期：4年		○	○	○	○	同意
	議第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員佐藤義宏さんは、令和8年6月29日に任期満了することとなるので、その後任委員として佐藤義宏さんを選任するもの 任期：3年		○	○	○	○	同意
条 例	議第4号	三条市税条例の一部改正について	地方税法等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日：令和9年1月1日等	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	原案 可決
	議第5号	三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日：公布の日の翌日等	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	原案 可決
そ の 他	議第6号	動産の取得について	スクールバス 1台 取得金額：2,277万円 契約者：新潟いすゞ自動車株式会社三条支店	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	同意
	議第7号	動産の取得について	学習者用タブレット端末 6,177台 取得金額：3億1,357万5,405円 契約者：株式会社NS・コンピュータサービス	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	同意
	議第8号	動産の取得について	消防ポンプ自動車 1台 取得金額：5,962万円 契約者：新潟モリタ株式会社	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	同意
予 算	議第9号	令和8年度三条市一般会計補正予算	令和7年11月の火災により焼損した清掃センターの本復旧等のほか、マイナンバーカードを活用した医療費助成のオンライン資格確認の導入に係る経費などについて、必要な予算措置を行うもの 補正額 2億1,440万円 補正後の額 540億3,865万9,000円	総務文教 常任委員会 市民福祉 常任委員会 経済建設 常任委員会	○	○	○	○	原案 可決
人 事	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員小林弘明さんは、令和8年9月30日に任期満了することとなるので、その後任委員候補者として小林弘明さんを推薦するもの 任期：3年		○	○	○	○	同意

図中の番号は議席番号です。

議席図

傍聴席									
17 野寄久雄		18 森山 昭		19 佐藤和雄		20 岡本康佑		21 馬場博文	
9 小林 誠		10 白鳥 賢		11 内山信一		12 藤家貴之		13 目黒 博	
1 石綿登志子		2 外山隆介		3 長谷部良明		4 村上 勝		5 平井恵里子	

A 資源有効利用促進法に基づく製造事業者に処分を依頼する予定だ。

Q 処分業者の取引において、個々のデータおよび個人情報の履歴等の取り扱いはどうか。

A 端末本体には、児童生徒等の個人情報情報は保存されない仕組みだが、念のため、端末に残るデータも確実に消去して処分する。

議第9号
令和8年度
三條市一般会計補正予算

Q 令和7年11月13日の火災により焼損した清掃センターのリサイクル設備の本復旧および再発防止策を行うとのことだが、本予算ではなく、補正予算で上程された理由を伺う。

A リチウムイオン電池の混入は近年増加傾向で、これに起因した小規模な発火により施設の一時停止に至るケースが多発している。この状況を踏まえ、本復旧に加えて、再発防止のための設備改善を一体で進めるべきと考えた。この設備改善の検討に時間を要したため、当初予算には計上できなかったものである。予算規模については、各種設備の交換や新設を狭い現場において足場を設置しながら施工するということから、適正であると考えている。

須頃郷第1号公園について

Q 三條燕インターチェンジ出入口の目の前にあり、好条件がそろっている未利用公園が放置されている。車30台ほどの駐車場を整備できないか。

A 都市計画公園のため、高速バス利用者のための駐車場は整備できない。★パークPFI事業として、民間事業者による整備を進める。燕市と連携しながら公園整備が実現できるよう進めていきたい。



平井恵里子議員の質問

三條市立大学がものづくりのまち三條の発展に果たす役割について

Q 三條市政が描く未来の三條のビジョンと、三條市立大学がどのような立ち位置で関わっていくのか。

A 産学連携実習を行い、着実に信頼と実績を積み上げていく。ものづくりの未来の担い手を育成し、産業の進展と魅力ある持続可能なまちの実現に向け、大学と密に連携していく。

Q 農業担い手確保育成事業ではどのような取り組みを支援するのか。

A 果樹棚整備や大型コンバイン導入を支援し、経営規模拡大や生産コスト低減による収益力向上を図るものである。また、耕作放棄地の発生抑制や雇用拡大など、地域農業の維持発展につながるものである。

Q 戸籍システム標準化に伴う債務負担行為補正の目的と影響は何か。

A 国の標準準拠システムへの移行に向け、システム構築と運用のために債務負担行為を設定するものである。業務効率化や法改正への迅速な対応、セキュリティ強化が期待され、市民サービスへの直接的な影響はないと認識している。

一般質問
ダイジェスト
6月定例会



岡本康佑議員の質問

総合計画と令和7年国勢調査等から読み解く三條市の現状と今後の市政運営について



三條市立大学

Q 三條市立大学と共同で研究開発に取り組む事業者に対しての支援とは何か。

A 中小、小規模事業者に対して、ものづくり人材の育成や研究開発のノウハウの蓄積のため、大学との共同開発に要する経費の補助を行っている。

三條市民の健康について

Q 食べるということ、生活習慣病を含む心身の健康、また医療費との関わりについて伺う。

A 生命維持に加え、子どもたちの健全な成長や人々が健康で幸福な生活を送るために欠くことができないもの。生活習慣病の発症や重症化予防につながり、医療費の抑制につながるものと捉えている。



三條定期市の新鮮な野菜と果物

Q 次期総合計画を自らの手で策定する考えも含めて、10年後、持続可能な三條市をどのように描いているか。市長の所見を伺う。

A 人口減少を前提としたまちづくりを進めていくのが、市長としての私に課せられた責任。しかし、人口減少は後ろ向きだけの話でもない。仮に人口が半分になったとしても、三條市民の一人ひとりのエネルギーが2倍、3倍になればパワーアップする。総合計画は、10年後、その先の将来も見据え、将来像を共有できる計画として策定したいと考えている。

Q 国勢調査の速報値において、隣市よりも人口減少率が2%高い理由をどのように考えているか。

A 一概には言えない。複数の要因が重なった結果である。人口減少には、就業や通学の利便性、住宅事情、生活環境などさまざまな要素が関係しており、それらが総合的に影響したものと考える。

学びの多様な学校について

Q 学びの多様な学校の設置に向け、調査研究を行うべきであると考えるが、見解を伺う。

A 学びの多様な学校の柔軟な教育課程の編成や設置要件等の研究を進める。先進校への視察等も行い、有効性を

Q 食育に関して自立した人間を育てることの重要性の理解と、取り組みの中で効果があったものを伺う。

A 栄養指導やフレイル予防の栄養講話、こっそり減塩作戦やスマートミール事業は、食生活の改善と適切な食塩摂取の取り組みに効果があった。



小林誠議員の質問

三條市の公共交通は、利用者負担に格差があり過ぎる

Q 今年のダイヤ改定で、路線バスで病院に行けないとの声がある。公共交通の改善が急務だ。三條市の公共交通の令和7年度の利用者数は、のーとさんじょうが3万596人、デマンド交通ひめさゆりが2万3684人、循環バスぐるっとさんが5万120人だ(図1)。1人当たりの運用経費と利用者負担と公費負担の割合(図2)は、のーととの経費2321円、そのうち利用者負担は約17%、公費負担は約83%。ひめさゆりは経費2322円のうち利用者負担約36%、公費負担約64%。ぐるっとさんは経費878円のうち利用者負担約14%、公費負担約86%と、利用者負担の格差が大きい。速やかな是正が必要であるがどうか。

を検討する。



西村邦明議員の質問

いい湯らていの改修について

Q はやぶさを残してはどうか。

A 駐車場としての整備を含め、★公募型プロポーザル方式で提案してもらう予定である。

Q 簡易宿泊ができるようにしないのか。

A 法的規制を考慮し、現時点で実施する考えはない。

Q 2階の座敷を廃止するようだが、利用状況はどうか。

A 年間121件、利用者数は1496人。

三條市自慢の上水道水について

Q 三條市の上水道水は大変おいしいと言われている。いろいろなところで宣伝してはどうか。

A 水道水の水源が良質であることは、ホームページの水質検査計画の中で周知している。大崎浄水場、遅場浄水場で浄水し、企業団からの受水は山岳地帯を集水域とする大谷ダムを水源

A 公共交通は種別ごとに特性があり、運営の仕組みと利用料金も異なる。財政状況等を勘案し、随時検討したい。

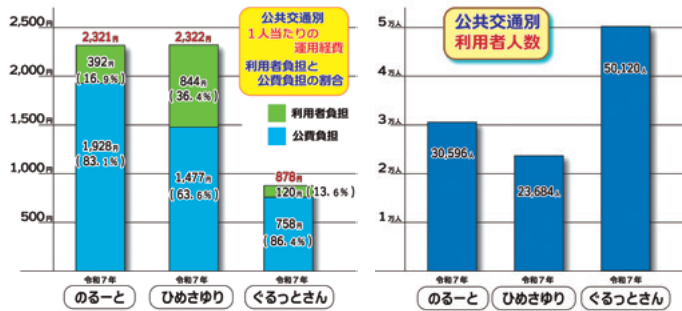


図2：公共交通別運用経費の割合

図1：公共交通別利用者数

三條市立大学の運営について

Q 3月23日、地元紙1面に三條市立大学の定員増加と校舎増築について報道された。我々議員には、全く寝耳に水だ。事実関係と大学の運営費についての考え方を聞く。

A 大学の検討段階のものが報道された。大学として実施を決定したものでない。大学の運営に係る費用は、大学が負担することが基本原則だ。



藤家貴之議員の質問

人口減少社会における生成AI活用について

Q 人口減少が進む中、限られた職員数で行政サービスの質を維持、向上させるため、市は生成AIをどのように活用していくのか。

A 生成AIは、文書作成や情報整理などの業務効率化にとどまらず、人口減少社会における行政運営を支える重要な基盤の一つと位置付けている。創出された人的資源は、市民相談や現場対応、政策立案などに振り向け、市民サービスへの活用も検討していく。

第三セクターの役割と今後の在り方について

Q 第三セクターは、公共性と企業性を併せ持ち、地域課題の解決や地域振興を担う存在と考えるが、市はどのように位置付け、下田郷開発にどのような役割を期待しているのか。

A 第三セクターは、行政と民間それぞれの強みを生かし、地域課題の解決や地域振興に取り組む組織と位置付けている。公共的役割と経営の健全性の両面を重視し、地域住民や利用者の声を事業に反映しながら運営されることを期待している。下田郷開発に

ついては、公益性と収益性の両立を図っていく上で、重要な存在と認識している。



長谷部良明議員の質問

三条市の財政状況について

Q 三条市の市債と財政状況について、現状はどうか。

A 令和8年度市債残高は、539億円を見込んでいる。市債を借り入れる目的は、原則として赤字を補うためのものではなく、世代間負担の公平と財政負担の平準化を図るためである。市債残高および実質公債費比率は、改善傾向にあると認識している。

入札制度について

Q 急激かつ大幅な物価高騰の状況での入札の現状と対策はどうか。

A 現時点で状況は厳しいが、予定通り発注、入札ができています。引き続き資材調達や価格動向を注視しながら適切に対応していく。

学校の統合について

Q 下田地域の小学校の統合準備と三条市全体の学校の在り方の検討についてはどうか。

Q 若者の目線での情報発信の工夫も必要ではないか。

A 市内県立高校の3年生に対し、Q&Aの冊子の配布とともに、希望する高校で出前授業として選挙の話や模擬投票等を実施することとしている。さまざまな世代に必要な情報が届くよう情報発信に努める。



竹山嘉一議員の質問

島田川における橋設置の必要性



長久橋から蜘蛛橋間は約410mにもわたり橋がなく、水害等の緊急避難時に大変問題だ

Q 長久橋から蜘蛛橋間は、約410メートルにもわたって橋がなく、大変不便なことに加え、水害等の緊急避難時に非常に問題だ。新たな橋が必要ではないか。

A 下田地域の小学校の統合については、準備委員会や個別検討部会により、さまざまな議論と検討を進めている。市全体の学校の在り方については、少子化の影響を踏まえ、中学校等の在り方についても検討していく必要がある。子どもたちにより良い教育環境を提供するために議論を深めていく。



白鳥賢議員の質問

いい湯らていりニユールと三条市観光全体構想について

Q 改修予算算出について、40億円から20億円に修正された経緯と内訳を伺う。

A 東京のコンサルティング会社に委託した理想的改修費の試算が40億円。事業の採算性や実現可能性も担保された案を作成するため★サウンディング型市場調査を実施し、20億円に修正された。内訳は、本館改修費約11・7億円、はやぶさ等解体費約1・6億円、外構工事費約1・3億円、工事監理費1000万円、事業者自由提案約5億円。

Q 直売所「彩遊記」の移転メリットはあるか。

A アクセスが容易になり、利用者にとっては利便性が高く、生産者にとって売り上げの増加等が期待できる。

A 橋梁整備は、地元自治会からの要望に加え、道路整備に必要となる環境が整った上で、道路整備の優先順位基準の中で検討する。

Q この区間には老朽化で壊れて危険な状態の木造橋があり、危険を承知で渡っている住民がいる。これは、無理して渡る住民の問題か、それとも安全な横断手段を確保していない市の問題と考えるか伺う。

A どちらかとは明確に答えられない。



長久橋から蜘蛛橋間に存在する壊れて危険な木造橋

高齢化社会に対応した道路側溝の泥上げ

Q 高齢で泥上げができないとの相談を多く受ける。三条市の高齢化率は30%を超え、空き家も増加し、空き家率は12%だ。せめて幅の広い生活排水路だけでも市の包括的維持管理で対応できないか。

Q 三条市の観光構想が分かりづらいのではないか。

A 総合計画を発展させ解像度を高め、いく必要があると認識している。

Q 令和8年度政府補正予算のうち重点支援地方交付金1000億円の割り当て分について

Q 三条市割り当て分は幾らか。

A 約4573万円。市民生活と地域経済の両方を支える観点から必要な対策に活用する。

Q 物価高支援施策について、市民の実感と政策にずれはなかったのか。反省はあるか。

A 市民や事業者との対話を重ねながら、実態やニーズなどの把握に努めていく。



外山隆介議員の質問

三条市経済ビジョンについて

Q どのような成果や課題を認識しているか。

A 人への投資が進むことで地域企業の競争力が強化されるものと認識している。一方で、企業や事業者の意識

A 大きな排水路等、地元で泥上げが難しいところは、自治会からの相談を受けた上で市として検討する。

カスタマーハラスメントの防止

Q 不当なハラスメントを許さず、安心して働いていける環境を整備するために、カスタハラ防止条例の制定が必要ではないか。

A 実態や課題を把握して先進自治体の事例を調査し条例制定を検討する。



目黒博議員の質問

子育て支援について

Q 「子どもは将来の宝」と言われる。意味は、次世代を担う子どもたちが未来の社会や国にとって掛け替えのない存在であるということだ。

A そこで、子育て支援、少子化対策として、3歳未満児の保育料を現在の半額にすれば、子育て支援になり、少子化の下降値が低減されると考えるが、市の見解を問う。

A 3歳未満児の保育料を半額にした場合、毎年1億円程度の財源が必要となるため、現時点では3歳未満児の保育料を一律で半額にすることは考えていない。



三条市経済ビジョン 表紙

部活動、課外活動等を含めた児童生徒の移動時の安全確保について

Q 交通事業者への発注の際の事業者選定、安全確認等にどう対応しているか。

A 教育委員会が委託する校外活動用バスは通学バス委託契約事業者を原則とし、運行管理体制、運転者研修体制、安全装置の装備状況等を確認している。学校で手配する場合は、発注先の旅行業者やバス事業者を通して同様の安全対策を確認している。事業者選定を担当職員の判断に委ねることなく、校長を含めて組織的に確認するように学校に指導している。

健康診査受診率向上について

Q 毎年行われる市の各種健診等の受診率から導き出した事柄から、受診率向上を図る必要性がある。受診率が向上すれば健康寿命が延伸され、楽しい人生を送れるからである。特にがん検診の受診率が良くない。未受診者には電話等で受診勧奨をすべきと考えるが、市の所見を問う。

A 特定健康診査の未受診者には、令和7年度から5月、10月に、またがん検診においては、毎年9月、10月には、がきによる受診勧奨を実施している。受診率向上の取り組みにより、令和6年度と令和7年度を比較し、特定健康診査は0.4ポイント、がん検診は2.3ポイントの受診率向上につながった。今後もより効果的な方法を考え、受診率向上に努める。



石綿登志子議員の質問

Q 三条市の特養ホーム待機者が増加している。令和7年の待機者が328人、そのうち在宅待機者が136人である。それに対し、三条市と人口がほぼ同じ新発田市は、待機者が136人、そのうち在宅待機者が44人

である。この差をどう捉えているのか。低年金でも入れる特養ホームの増設が必要ではないか。

A 市としても施設整備の必要があると捉えている。第10期介護保険事業計画において、広域型の大規模な特養ホームを含めた整備計画を検討したい。

Q 介護事業者の人材不足や経営状況が急速に厳しくなっている。他の自治体のように、介護事業所に直接支援してはどうか。

A 介護事業者に対する直接支援は考えていない。

県央基幹病院の救急搬送数と地域医療について

Q 県央基幹病院への救急搬送は、令和6年度6412台、令和7年度6343台と集中している。救急搬送数が同規模の病院と比べて少ない医師で対応し、病床稼働率も90%を超えている。医師確保や救急の受け入れの分散化、病床増加が必要ではないか。

A 県央圏域の医療需要の変化に対応するための医療再編であり、県央基幹病院の医師数や夜間の救急体制、病床数は県において確保されるものと捉えている。



石田文夫議員の質問

Q 大改正を控えた成年後見制度と三条市の取り組みの現状について

A 令和7年4月に設置された成年後見支援センターの活動状況はどうか。

Q 制度を利用した場合の法律効果が複雑で、本人や家族にとって思わぬ結果が生じてしまう場合がある。改正法では制度利用の終了事由の拡大が図られている。これらのことについてはどうか。

A 制度利用の法律効果については、家族の心情に配慮しながら丁寧に説明する必要があると捉えている。

建物の除却に伴う空き地の管理について

Q 相続登記や住所等の変更登記が義務化されたものの、所有者にたどり着けない空き地が増えている。このこ

医療・介護・障がい福祉分野のサポートスタッフ活用

Q シルバー人材センター、セカンドライフ応援ステーションの活用推進による人材定着はどうか。

A 方向性を検討する。

迅速な救急搬送

Q マイナ救急の運用状況、県央基幹病院開院後の搬送時間の現状と、救急医療情報カード等の活用状況はどうか。

A マイナ救急で正確かつ容易な医療情報取得が可能となった。県央基幹病院開院により県央地域内の受け入れ機能が向上、搬送時間短縮につながった。救急医療情報カード、緊急通報装置は救急活動に有効な手段。普及に努めている。



救急医療情報カード

とについてはどうか。

A 空き地の所有者特定に当たって、市で固定資産税の課税情報を利用することが法律で認められておらず、そのため登記簿が更新されていない場合、所有者を特定できないという課題がある。引き続きさまざまな機会を捉え、国に対して法整備等の対応を求めている。



利活用困難な土地に繁殖する葛
葛は、繁殖力が強く、国道8号脇にも多く見られる



内山信一議員の質問

Q 避難所になっている嵐南公民館がなくなったら、どこに避難すればいいの。

A まずは自宅の2階以上へ垂直避難をしてほしい。垂直避難できない場



緊急通報装置のチラシの一部

ソレイユ三条の改修

Q トイレの洋式化、オムツ替え設備の整備、施設全体の改修計画を問う。

A ニーズを踏まえ、安全性や緊急性を勘案し、必要な改修を進める。



相場浩議員の質問

Q 目下の情勢に当たり、地域の現状をどう捉え、どのような対応をしていくのか。

A 経済団体や金融機関などからヒアリングをし、現状把握に努めている。その上で、今後事業継続に深刻な影響がある場合には、感染症禍の経験も踏まえ、支援策を迅速に講じられるよう準備を進めている。

公共施設の見直しについて

Q 三条市公共施設等総合管理計画と公共施設再配置計画を見直すべきではないか。

A 策定から10年が経過している。人口減少や施設の老朽化など状況の変化を踏まえ、これまでの実績等について確認し、必要な検討を行っていく。



避難所としても使える
ソレイユ三条

合は、ソレイユ三条、第一中学校・嵐南小学校などの近隣の避難所に避難してほ

今後の八十里越開通に向けた市の対応について

Q いい湯らていに期待する役割は何か。その実現に向けた取り組みについて問う。

A 新潟県側の玄関口としての役割を果たすため、新潟ならではの食や購買体験、リフレッシュ機能、にぎわい空間等の整備を進めている。また、栃木

観光への向き合い方について

Q 八十里越街道開通後に市場調査をし、今後の検討をしてはどうか。

A 開通後の調査も重要。その結果から適宜対応を行う。

持続可能な地域を意識した教育について



地域が子どもたちの教科書に

Q 子どもたちが地域を自分事と捉えることが大切だ。そのために、現在地域との接点となる三条キャリア教育バンク、学園運営協議会、各種情報の周知があるが、今後どのように推進していくのか。

A 三条キャリア教育バンクでは、昨年度210件マッチングをしたが、一層の新規事業者登録を目指す。

学園運営協議会については、子どもたちの実態や地域の特色を考えながら、地域に根ざした活動になるように働き掛けていく。

子どもたちを対象とした地域の事業

については、保護者にとって親和性の高い媒体の利用や他市の取り組みなどを参考にし、より効果的な周知の在り方を研究していく。

村上勝議員の質問

市道大浦山手線道心坂区間の早期整備について

Q 道心坂区間の早期整備を求める決議に対する検討状況と今後の見通しはどうか。

A 下田地域と三条地域をつなぐ幹線道路で、八十里越開通に伴い重要性が増す。決議を踏まえ、令和9年度に整備方法やルート、概算金額等を検討し、県道移管に向け県と整備の方向性を協議する。民地調査に時間を要することが見込まれるが、着実に取り組みを進めたい。



早期整備が求められる道心坂区間

盛土規制法による影響について

Q 盛土規制法施行が市内の宅地造成や住宅取得環境に与えている影響と今後の対応はどうか。

A 施行後の市内許可件数は5件である。新築件数は減少傾向だが、原因は資材高騰等による建築控えなどと考えており、法改正の影響ではないと捉えている。今後課題が確認されれば、必要に応じて県や国へ要望を行いたいと考えている。



盛土規制法表示看板

燕幸男議員の質問

道路改良および歩道整備について

Q 井栗公民館入口交差点および市道下谷地合屋線の道路改良について、これまでの進捗状況と歩道整備等を含めた今後の計画はどうか。

A 交差点部を拡幅し、右折車線を設置。同時に児童等の安全を確保するための歩道整備も行っている。全体

市民福祉常任委員会 岡本康佑委員長

清掃センター内リサイクル設備、火災からの本復旧および再発防止策を実施

令和8年度 三条市一般会計補正予算

Q 国の補助金を活用して導入するマインバーカードによる医療費助成のオンライン資格確認とはどのようなものか。

A マイナ保険証による医療保険の資格確認に加え、公費による各種医療費助成の受給者としての資格確認を可能とするもの。システム改修によりマイナ保険証のみで資格確認が可能となる。

Q 清掃センター内リサイクル設備での火災の本復旧に係る工事期間はどうのくらいか。

A 施設が稼働している中での修繕となることから、工事の完了を3月末までと予定しているが、実際の工事期間は1カ月程度と考えている。

Q 火災の再発防止策をどう考えているか。

A 今回の火災と同様にベルトコンベヤーで発火した場合には、ベルトコンベヤーに炎を検知する機器と注水設

計画延長462メートルのうち242メートルが完了。残りは土地所有者の協力を得ながら進めていきたい。

東三条駅前駐車場の利用促進について

Q 現在駅前駐車場は、21時から翌朝9時まで施設され、車両の出入庫ができない状況である。利用時間の拡充を図るために、24時間利用が可能となるカメラ式駐車場への転換を検討しはどうか。

A 他の機械制御方式よりも導入コストが低く、維持管理費用も抑えられる見込みがあることから、現在調査研究を進めている。

医療用補正具購入費助成事業について

Q 申請は補正具ごとに1回のみである。医療用ウィッグについては、2台目以降も助成の対象とするなど制度の充実に取り組んではどうか。また、がん患者に限らず、脱毛症等による外見の変化に苦しむ人にも対象を拡充してはどうか。

A 県内外の他自治体の事例の情報収集に努めるとともに、市の財政状況を踏まえながら助成方法について研究していききたい。

CHECK! 常任委員会

審査レポート

詳しく議案を審査します！

総務文教常任委員会 藤家貴之委員長

児童生徒用の新しいタブレット端末が2学期から使用可能に

議第7号 動産の取得について

Q 児童生徒用のタブレット端末の購入について、納入期限は令和8年8月5日とのことだが、児童生徒に届くのはいつ頃か。

A 納入後、各学校における設定作業を経て、2学期からすべての児童生徒が使用できるスケジュールとなっている。

議第9号 令和8年度 三条市一般会計補正予算

Q 財政調整基金について、近年は残高が100億円以上となっているが、どのくらいの金額が必要と考えているのか。市民から市政に対してさまざまな要望がある中で、残高の基準を示すべきではないか。

A リーマンショックや水害の経験を踏まえ、残高は最低でも20億円あ



付託された議第9号は、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



付託された議第9号は、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

令和7年度政務活動費収支報告

各会派から令和7年度政務活動費の収支報告が提出されましたので、収支の状況をお知らせします。

政務活動費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付される金銭的給付です。三条市では、市議会における会派に対して、議員1人当たり月額3万円を年度当初に一括で交付しています。

この支出に当たっては使途基準に従って行われ、使途の透明性を図るため、支出したもののすべての領収書の提出が必要になっています。返還金は、市に返納されます。

(単位：円)

会 派 名		清風会 (9名)	自由クラブ (7名)	日本共産党議員団 (3名)	公明党議員団 (2名)	無所属 (1名)	計 (22名)
収入	政務活動費補助金	3,240,000	2,520,000	1,080,000	720,000	360,000	7,920,000
	収入合計	3,240,000	2,520,000	1,080,000	720,000	360,000	7,920,000
支出	調査研究費	704,700	1,454,012	0	0	0	2,158,712
	研修費	528,260	326,420	120,950	347,880	251,840	1,575,350
	広報費	754,669	0	199,678	0	2,100	956,447
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	251,768	120,428	0	81,463	62,354	516,013
	資料購入費	9,680	0	79,770	36,000	43,171	168,621
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0
支出合計		2,249,077	1,900,860	400,398	465,343	359,465	5,375,143
返 還 金		990,923	619,140	679,602	254,657	535	2,544,857

調査研究費	会派での先進地の調査研究など、行政視察に要した費用
研 修 費	会派による研修会、中越地区市議会合同研修会などの参加に要した費用
広 報 費	会報の発行や報告会の開催などに要した費用
広 聴 費	会派での住民要望、意見聴取、住民相談などに要した費用
要請・陳情活動費	会派での要請、陳情活動に要した費用
会 議 費	会派が行う会議、団体等が開催する会議への参加に要した費用
資料作成費	パソコンのリース代、コピー用紙代、プリンターインク代などの資料作成に要した費用
資料購入費	図書、資料などの購入に要した費用
人 件 費	会派が行う活動を補助する職員の雇用に要した費用
事 務 所 費	会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要した費用

農業者が行う施設や機械の整備を支援

経済建設常任委員会 村上勝委員長

令和8年度
三条市一般会計補正予算
議第9号

Q 農地所有適格法人経営発展支援事業による果樹棚の整備について、これがモデルとなり、近隣の果樹農家の意欲向上に弾みがつくことを期待している。活用の要望はどのくらいあるのか。

A 県の支援事業の要件を満たす必要があるため、活用の要望が多い状況ではないが、相談があった場合には三条地域振興局と共に、採択の可能性を探りながら対応している。

Q 省エネルギー対応農業生産条件整備支援事業によるコンバインの導入について、どのような省エネルギー機能があるのか。また、なぜ5条刈りと6条刈りの2台を導入するのか。

A 燃費向上を図るため、エンジン負荷に応じて自動で車速を制御する装置等の機能が付いている。また、経営面積の拡大に伴い、適切な時期に効率的な刈り取りを行うために2台を導入するものである。



付託された議第9号は、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

Q この補助事業における金額の妥当性や導入後の資産管理はどうなっているのか。

A 県の基準に基づき過剰投資にならないよう審査された上で、入札により事業者を決定する。また、法定耐用年数の7年間は必ず使用するものとしており、その期間内に売却等を行えば補助金の返還が生じる。

令和8年
(2026年)
5月臨時会

市議会議員選挙後、初めての議会となる臨時会を5月20日、21日の2日間にわたって開催しました。

この臨時会では、新しい議長、副議長の選出をはじめ、議会運営委員会、常任委員会の委員の選任などを行いました。

また、市長提出議案の「監査委員の選任」に同意しました。



議 案 賛 否 一 覧

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

議 案				会 派 名 (下段は所属議員数)	清 風 会	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	議 決 結 果	
区 分	番 号	件 名	概 要		9	9	2	2		
(市長提出)										
人 事	議第1号	監査委員の選任について	議員のうちから選任された監査委員山田富義さんは、令和8年4月30日に任期満了したので、その後任委員として佐藤和雄さんを選任するもの			○	○	○	○	同意

議員表彰

6月定例会の初日、永年にわたり市政発展に尽力された功績をたたえ、全国市議会議長会からの議員在職20年以上の特別表彰および議長在職4年以上の一般表彰が森山昭議員に伝達されました。

また、西川重則前議員は議員在職35年以上の特別表彰を受けました。



森山 昭 議員

議員在職
20年
以上

議会日誌

- | | | |
|---|--|--|
| 4月 <ul style="list-style-type: none">10日 議会報編集委員会22日 議会報編集委員会23日 第101回北信越市議会議長会定期総会 ～24日
(長野県松本市)24日 議会報編集委員会 | 5月 <ul style="list-style-type: none">7日 一期議員打合せ会8日 各派代表者打合せ会
政務活動費経理責任者会議11日 一期議員予算概要説明会 ～12日13日 各派代表者打合せ会15日 各派代表者打合せ会18日 各派代表者打合せ会20日 第3回臨時会 ～21日25日 議会運営委員会27日 全国市議会議長会第102回定期総会(東京都千代田区)28日 市議会議員共済会第132回代議員会(東京都千代田区)29日 北信越市議会議長会表彰状伝達式 | 6月 <ul style="list-style-type: none">1日 総務文教常任委員協議会
市民福祉常任委員協議会2日 経済建設常任委員協議会8日 各派代表者会議
議案概要説明会
議会運営委員会12日 議会運営委員会15日 本会議[全国市議会議長会表彰状伝達式、提案説明]16日 本会議[大綱質疑～委員会付託]17日 本会議[一般質問]18日 本会議[一般質問]19日 本会議[一般質問]
議会報編集委員会22日 市民福祉常任委員会23日 経済建設常任委員会
経済建設常任委員協議会24日 総務文教常任委員会
総務文教常任委員協議会26日 議会運営委員会29日 本会議[委員長報告～採決] |
|---|--|--|

令和8年9月定例会日程

- 9月**
- 2日(水) 本会議[決算審査特別委員会設置、提案説明]
 - 4日(金) 本会議[大綱質疑～委員会付託]
 - 7日(月) 本会議[一般質問]
 - 8日(火) 本会議[一般質問]
 - 9日(水) 本会議[一般質問]
 - 10日(木) 市民福祉常任委員会
 - 11日(金) 経済建設常任委員会
 - 14日(月) 総務文教常任委員会
 - 15日(火) 決算審査特別委員会(市民福祉分科会)
 - 16日(水) 決算審査特別委員会(経済建設分科会)
 - 17日(木) 決算審査特別委員会(総務文教分科会)
 - 24日(木) 決算審査特別委員会
 - 28日(月) 本会議[委員長報告～採決]

編集後記

三条市議会は、4月の選挙を経て新人9名を含む22名の議員構成になりました。

今期初となる一般質問では、それぞれが主張してきた思いを行政側に問いました。

議員それぞれ立場や意見の相違はあろうと思います。しかし、より良い三条市を創っていかうという思いは、通奏低音のように流れています。

「さんじょう市議会だより」も新たなメンバーで親しみやすい紙面を作っていくよう努めてまいります。

市民の皆さまの声は大きな力になります。どうぞ多くのご意見をお寄せください。

議会報編集委員会

委員長 石田文夫
副委員長 外山隆介
平井恵里子 長谷部良明
石綿登志子 阿部育子

発行/三条市議会 編集/議会報編集委員会
責任者/議長 野寄久雄
三条市議会事務局 電話:0256-34-5583 Fax:0256-33-8861
<https://www.city.sanjo.niigata.jp/>
E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp



この印刷物は、植物油インクと再生紙を使用しています。